



災害対応自動販売機

**災害対応自動販売機の拡充を
答 引き続き設置拡充していく**

河田 美穂 議員
(公明党)

**議員9名が
一般質問で市政を問う**

質問を行った順に、各議員から提出された要約原稿にもとづいて掲載しています。

録画配信でチェック!
市議会ホームページから、本会議の録画をご覧いただけます。
京田辺市議会 インターネット中継 で検索

問 災害対応自動販売機の拡充と設置場所の周知をするべき。

答 (危機管理課) 引き続き設置拡充していく。病院や企業にも設置に向け働きかける。設置場所はHPの防災関連のところに掲載していく。

問 防災士の拡充と資格者への研修、資格を生かす場を工夫すべき。

答 (市農) 地域事情に精通した防災リーダーとしての役割を果たしていただくことを期待している。地域の防災訓練等に関わっていただく機会を増やすと共に、防災士資格を取得していただき、地域防災力の強化に努める。

問 特定健診の受診率、特定保健指導の実施率向上に取り組むべき。

答 (市民部長) 受診勧奨の個別案内の中で、メリットや、年齢・性別ごとに啓発メッセージを加えるなどさらなる周知啓発を行う。

問 糖尿病重症化予防対策はどのようか。

答 (市民部長) 保健医療関係者府、健康推進担当課と連携し、取り組みを進めていく。

問 自転車通行帯に市内統一自転車マークをつけるべき。

答 (建設部長) 市内の幹線道路を中心に統一したわかりやすい自転車マークの表示を行う。

問 不登校の子どもが参加されるポットトラックのHPを改善すべき。

答 (教育指導課) 市民の方に見やすくわかりやすい努力をする。

問 HPの作成については私の方からも指導する。



旧府農総研跡地(興戸)

**農福連携の拠点の整備を
答 平成30年度当初予算に計上**

小林 喜代司 議員
(みらい京田辺)

問 旧府農業総合研究所跡地を農福連携の拠点として整備を行う必要があるのでは。

答 (市長) 研究所跡地は市が目指している「緑豊かで健康な文化田園都市」の実現に向けて、市民の憩う緑の拠点づくりを進めている。公共施設が集まった市の中心部に当たるという利便性を生かして、農業を通じた自立を促進する農福連携をテーマの一つとして子どもから高齢者、障がいのある人などあらゆる市民の方が交流できる公園となるように取り組むたいと考えている。事業に必要な用地の確保に調整がついた事から、平成30年度当初予算に費用を計上した。今後は公園の管理や運営などの手法について、福祉団体を始め関係機関の声を聞いて整備を進めたい。

問 山手幹線は3月17日に全面開通されるが、開通後は早くから交通安全対策として要望されている府道八幡木津線の新一休寺道からJR同志社前駅間の通学路の大型車通行規制は実施されるのか。

答 (建設部長) 山手幹線の全面開通に伴い、府道八幡木津線の交通量が減少し、渋滞緩和や安全な交通の確保に寄与するものと期待している。大型車両の交通規制については、現在府で進められている新茶屋前交差点の右折レーン設置完了後に山手幹線の交通転換の状況を調査の上、大型車の通行規制について交通管理者と協議したい。



出初め式(多目的運動広場)

**消防団組織の見直しを
答 要望ないため考えていない**

南部 登志子 議員
(無党派)

問 防災・減災の課題。

答 (危機管理課) 消防団組織の見直しが必要。団員定数の不足、地元外の団員のみが増え、カバーする他団の負担も増加。実体をリアルに把握し、その上で対策を。①中規模マンション等で組織される防災組織を、自主防災組織として位置づけよ。②増加する外国人居住者への災害時対策として、最低限必要な情報資料(たとえは給水車の到着予定など)をあらかじめ外国語で、あるいは平易な日本語(子どももわかる)で準備しておくべきでは。

問 区・自治会・団からの要望がないため考えず。

答 (危機管理課) ①原則、区・自治会単位での設立。②ハザードマップや防災ガイドブックは英語版で作成・配布。

問 次期高齢者保健福祉計画・障害福祉計画では、高齢者や障がい者が地域で暮らすこと、家族以外に地域住民も彼らを支えていくことが目指されている。理念としては素晴らしいが、実現するには多くの課題がある。また、地域住民の理解だけでなく、住民が病気を障がいについての知識・対応方法についても学ぶ必要がある。さらに、居宅介護の需要が増えることにもなる。市の認識および計画は。

答 (健康福祉部長) 個々のサービスの充実、関係する方々や団体のつながりづくり、市民に理解を深めてもらうことが必要。そのために市民を対象としたさまざまな学習の場を設けている。居宅介護の増加については十分な認識がある。

議会日誌

20日	議会運営委員会・幹事会(25日)
16日	広報編集特別委員会(16日、23日)
12日	総務・建設経済常任委員協議会
6日	近畿市議会議長会定期総会
20日	建設経済常任委員会管内視察
28日	議会運営委員会(26日)
22日	第一回定例会 閉会
12日	議会運営委員会(26日)
9日	建設経済常任委員会・協議会
7日	予算特別委員会(13日、15日、20日)
6日	第一回定例会 閉会
5日	第一回定例会(一般質問)
2日	第一回定例会(一般質問)
28日	第一回定例会(代表質問)
22日	府議会・市町村議会正副議長合同研修会
20日	第一回定例会 開会
13日	議会運営委員会(16日、20日)
9日	文教福祉常任委員協議会
7日	文教科常任委員協議会
6日	一新会会派研修(8日)
1日	総務常任委員協議会